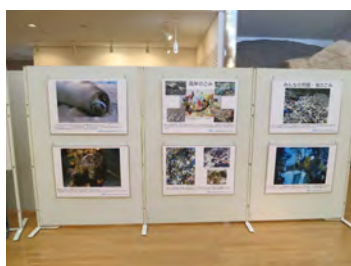


2015 年 JEAN 活動報告「海ごみ問題解決に向けた取り組み」



◆ 第 13 回海ごみサミット 2015 長崎・五島会議

第 13 回目となりました 2015 年の海ごみサミット（2015 年 10 月）は、長崎県五島市で開催されました。2015 年 6 月に開催されました「G7 エルマウ・サミット」では、初めて首脳宣言に海洋ごみ、特にプラスチックごみ問題が世界的課題と明記され、附属書に「海洋ごみ問題に対処するための行動計画」が盛り込まれました。今回のサミットでは、海洋ごみ問題が世界的に新たな段階に入ったととらえ、これまでに積み上げてきました国内外の関係者との連携をさらに発展させることを目的に「国際連携の進展」を主なテーマに掲げ、韓国、中国、台湾と、日本国内各地で海洋ごみ問題に取り組んでいる NGO/NPO の方々を招き、取組事例の紹介とともに課題や成果を共有した上で、環境改善に向けた取組み拡大を目指して討議を行い、今後の方向と具体的な方策を確認しました。

◆ 2015 Hilo Symposium on Marine Debris & Tsunami Driftage

2015 年 12 月、ハワイ島ヒロで開催されました「2015 Hilo Symposium on Marine Debris & Tsunami Driftage」に参加し、二日間にわたって発表を行いました。またハワイ島のサウスポイントにあるカミロ海岸でのクリーンアップにも参加し、マイクロプラスチックや日本から流出したカキ養殖用パイプなどをたくさん回収しました。この催しは、震災起因漂流物への取り組みを通じて直接顔を合わせた意見交換や活動情報の共有が重要だと感じた Hawaii Wild Life Fund のミーガン・ラムソンさんらが企画して実現したものです。

◆【海ごみ問題普及啓発のためのオリジナル貸出展示物】

JEAN では、海ごみの問題を広く伝えるためのオリジナル貸出展示物として、様々な漂着物をトランクに詰め込んだ小さな移動博物館【漂着物のトランクミュージアム®】と、迫力の【写真パネルセット】を用意しています。2015 年は、貸出し件数 35 件、延べ展示日数 194 日間。多くの方にご利用いただき、1 年の半分以上、日本のどこかで展示されていたことになります。

粉々になったプラスチックに埋め尽くされた海岸のこと、絡まって外すことのできないごみによって傷つき、命を落とすことさえある海の生き物のこと、街から出ていく生活ごみが圧倒的な量を占める海ごみのこと。いままで海ごみの問題を知るチャンスのなかった方に、このパネルやトランクを使って伝えてください。環境イベントでの展示、講演会や勉強会の会場で、また会社や施設の入口ホールなどに展示してください。いずれも解説付きですので、どなたでも簡単にお使いいただけます。詳しい内容は JEAN のウェブサイトで紹介しています。ご利用希望の方は、お気軽に JEAN までお問い合わせください。

◆ JEAN のウェブサイトの情報 ◆

“美しい海を子どもたちへ” JEAN / 一般社団法人 JEAN のウェブサイト

<http://jean.jp/>

一般社団法人 JEAN (facebook 版)

<https://www.facebook.com/JEAN.cleanup/>

JEAN STORE / JEAN が製作した資料や推薦グッズの販売サイト

<http://www.jean-store.jp/>

海ごみプラットフォーム・JAPAN / JEAN が運営する海ごみ情報の共有サイト

<http://malipjapan.jp/>

海ごみプラットフォーム・JAPAN (facebook 版)

<http://www.facebook.com/malipjapan>



後援：海上保安庁・環境省・国土交通省・水産庁

協賛：アーティスト カザマナオミ・(株) アルパローザ・エース (株)・(株) ゴーフィールド・三和グループ社会貢献倶楽部・(株) 大伸社・(株) スタースーパーフーズインターナショナルジャパン・(株) ナチュラルハーモニー・パタゴニア日本支社 (環境助成金プログラム)・ボルコムジャパン・三井化学 (株) / チビットワンコイン・GREENSTYLE 基金・Seafrogs.info (海技士口述試験問題集) (50 音順)

発行：一般社団法人 JEAN

〒185-0021 東京都国分寺市南町 3-4-12 マンションソフィア 202 TEL: 042-322-0712 FAX: 042-324-8252

E-mail cleanup@jean.jp Website <http://jean.jp/>

International Coastal Cleanup 2015

国際海岸クリーンアップ 2015 結果概要

クリーンアップキャンペーン全体報告

2015 年のクリーンアップには、北は北海道から南は沖縄県まで 321 会場に延べ 28,587 人が参加し、188km の海岸、河岸、湖岸、水中および内陸から、128 トンのごみを回収しました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



山形県
会場数 第 1 位: 55 会場



うみそうじん

鹿児島県
参加者 第 1 位: 8,441 人

神奈川県
会場数 第 3 位: 39 会場
参加者数 第 3 位: 2,139 人

東京都
会場数 第 1 位: 55 会場
参加者数 第 2 位: 3,446 人

▲ 2015 年のクリーンアップキャンペーン会場マップ



国際海岸クリーンアップ (International Coastal Cleanup : ICC) とは

海のごみ問題は、拾うだけでは決して解決しません。それはいくらごみを回収しても、新たにごみが繰り返し発生し、漂着するためです。「国際海岸クリーンアップ (ICC)」(実施期間: 9 ~ 10 月) は、アメリカの環境 NGO オーシャン・コンサーバンシーが提案する世界共通の手法で、ごみの内容を調査し、ごみの問題点を参加者一人ひとりに気づいてもらいながら改善するための方策を探る活動です。これから先もずっとごみを拾い続けるのではなく、私たち自身がごみを減らさなければ海ごみ問題は解決しないことを、参加者一人ひとりに理解してもらうことが目的です。